

# 市議団速報

HP <https://jcp-niigata-shigidan.com> No.348



2024年10月1日  
日本共産党新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

Mail [jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com](mailto:jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com)

## 9月市議会

# 米不足問題、明鏡高校夜間部廃止について、教職員個人データ消失、人事院勧告・地域手当3%カットについて質問 — 日本共産党 野村紀子 議員 —



一般質問を行う野村紀子議員

野村紀子議員は25日、開会中の9月議会一般質問を行いました。その大要は次の通りです。

**米不足問題、市として国に備蓄米の供給を求めるべきではないか**

野村議員は、9月ごろから米が出回ってきたが価格が高い。子ども食堂やフードバンクなど必要な所に米が行き渡るように、国へ備蓄米の供給を求めるべきと質問しました。

三坂農林水産部長は、「国は流通環境を改善するために米の集積業者や卸売業者の全国団体に對し、8月下旬から10月に渡り、主食用米の円滑な要請を行っている。また、子ども食堂やフードバンクなどにおいても供給量の不足が生じたことから、9月2日以降、備蓄

米が年間を通じ、無償で交付できるよう制度を変更しています」と、回答しました。

**米不足問題を契機に環境保全部農業を推進し、有機米の生産を増やしてはどうか**

野村議員は、「新潟市の農業構想」で、市民の「割近くが「国産有機食品」に関する」と答え、その品目は「米」であるという事実を上げ、化学肥料や農薬に頼らない環境保全型農業の積極的支援をすべきではないかと質問しました。

農林水産部長は、環境保全やSDGsへの意識の高まりを背景に、今後も国産有機農産物や有機米のニーズが見込まれることから、「国の支援策等も活用しながら、有機米の栽培に取り組み農業者を支援します」と回答しました。

**性急な市立明鏡高校夜間部の廃止方針、地域や父母にどのような説明をしたのか**

新潟市は6月27日、志願倍率の低下や生徒数の減少を理由に、市立明鏡高校定時制の夜間部の募集を2

027年（R6）から停止し、2030年をめどに閉部する方針を示しました。

野村議員は、今日夜間部は不登校経験者など、多様な生徒の進路先になつており、性急な夜間部廃止方針は問題ではないのか、地域や父母、教職員の理解は得られているのかと質問しました。

山本教育次長は「6月25日PTA会長、同窓会長、学校運営協議会委員長に廃止の説明を行ったが、地域住民に対する説明は考えていない」と回答しました。また、明鏡高校の全職員には直接教育委員会職員が説明し、保護者には学校から校長名で文書を配布したと回答。「夜間部がなくなることに對し、残念であることや、寂しいといった声が多かった訳ではないが、現時点で一定の理解は得られた」と、回答するにとどまりました。

**この春異動した教職員の個人データ消失、どのように対応したのか**

この春の人事異動で、異動した100人以上の小中学校の教職員の個人データが、ファイルごと消失

しました。野村議員は、データは個人の財産であることを指摘し、なぜデータが消失したのか、その経緯を質問しました。

山本教育次長は、「4月1日にフォルダ内のデータの一部が消失していることが判明したが、現時点ではデータ消失の原因特定はできていない、現在は対象の教職員のデータ返却に向けて準備している」と回答しました。

**国の人事院勧告で新潟市の「地域手当3%」がカット。本市職員給与への影響は？**

今年8月8日、国家公務員の給与を決める、令和6年人事院勧告が出されました。これまで新潟市に支給されていた3%の地域手当がカットされています。

野村議員は、本市職員給与と民間賃金への影響はないのかと質問しました。

古俣総務部長は、「本市人事委員会の勧告は現時点では出されていないため、地域手当がどのような取り扱いとなるか把握できていないが、公務員給与については各種手当を含んだ金額で民間賃金と比較しているため、仮に一部の手当が削減されたとしても、俸給や諸手当を調整することにより民間賃金との均衡が図られるものと認識しています」と回答しました。

